

2018年
競技規則書
【NCML 耐久レース】



主催
(有)アクトコーポレーション
新千歳モーターランド

公示

新千歳モーターランド各レースは、モータースポーツを行う「爽快感」や「感動」を参加する皆様方と共に親しみ楽しんでいただく為に開催しています。モータースポーツを正しく理解していただくため【ルール】や【マナー】を遵守することは、社会生活を営むためにも大切なことと考えています。参加される皆様方『共に競い』『語り合う』ことのできる【舞台】を提供する事が新千歳モーターランドの主旨です。レースは競技規則に基づいた「NCML 特別規則書」に従って開催されます。

—競技種目—

- ◆ 耐久レース

はじめに

本競技会は、新千歳モーターランドの定める特別規則書に基づいて、下記の理念でクローズド競技で開催されます。

【耐久レース】競技開催理念は、レンタルカートユーザーのドライビングテクニックやドライビングモラルの向上の場と親睦を目的に開催されるものです。スポーツは【ゲーム】であり【遊び】であるという、根本的原点を認識し心身ともに健康な男女で勝敗よりも「安全」と「楽しさ」を追求できる方、会話を楽しみ、遊び心を十分に持ち合わせている方に限ります。

尚、規則書は必ず最後までお読みいただき熟知してください。

—参加資格—

- 満18歳未満の方は、親権者の承諾が必要となります。エントリー用紙に親権者が必ず承諾した上で、署名し提出してください。エントリー用紙が不備の場合には「該当ドライバー」の出走は認められません。
- レンタルカートの各レースに於いてライセンスは不要です。
- チーム構成は2名~5名まで
- チーム代表者は、自分の行動は勿論として、自チームの選手・ピット要員・応援団の全員の行動について責任を遵守できる方に限ります。
- 年齢・性別に関係なく『遊びの精神』を第一義とし「決して怒ってはならない」事を遵守できる方に限ります。
- 常にスポーツマンとしての態度を保ち、下品な言葉は慎むこと。
- 故意に他のドライバーの走行を妨害するような走り方をすると、ご遠慮いただきます。

- 参加申し込み期間はレース当日より1週間前です。(定員になり次第締切ます。)締切日は絶対厳守です。締め切り後の受付は一切いたしません。
- 参加申込書(誓約書)、と参加料を添えて受付に提出のこと。

—エントリーフィー

NCML 2H 耐久	ビジターチーム	¥30,000 (焼肉付)
	メンバーチーム	¥20,000 (焼肉付)
ナイター 2H 耐久	ビジターチーム	¥30,000
	メンバーチーム	¥20,000
WEEKDAY 2H 耐久	ビジターチーム	¥30,000 (焼肉付)
	メンバーチーム	¥20,000 (焼肉付)
2017 4H 耐久	ビジターチーム	¥40,000
	メンバーチーム	¥30,000

—レースカテゴリー—

- NCML 2H 耐久レース(チャレンジクラス、エンジョイクラス)
- NCML ナイター2H 耐久レース(チャレンジクラス、エンジョイクラス)
- WEEKDAY 2H 耐久レース
- 4H 耐久レース(チャレンジクラス、エンジョイクラス)
最小出場台数は5台、最大出場台数は各クラス10台とする。

—賞典—

- NCML2H・WEEKDAY2H⇒各クラス30%まで(参加賞 焼肉)

—参加車両に関して—

- レース当日、抽選によりそれぞれのチームの車両を決定する。(エントリー順に抽選を行う)
- 以降、割り当てられた車両に対して整備・セッティングの変更を一切禁止とする。Ex) トレッド調整・エア圧・添加剤等
※整備不良箇所を見つけた場合は必ずオフィシャルまで申し出る事。

—服装・ヘルメットに関する事—

- ヘルメットはあごひもをしっかりしめること。
- ドライバーの服装はレーシングスーツ or つなぎ+グローブは必ず着用、身体の安全確保ができドライビングを妨げるものであってはならない。

参加者の遵守事項

- 全ての参加者は、競技中 競技役員の指示に従わなければならない。また、反論や抗議は文章にして提出すること。決して言葉による抗議をしてはならない。
- 参加者は競技中または、競技に関する業務についているときには薬品などによって精神状態をつくろったり飲酒してはならず、また喫煙も許された場所以外ではしてはならない。未成年者の喫煙は断じて禁止いたします。
- 参加者は主催者・大会後援者・大会審査員及び大会役員の名誉を傷つけるような言動をしてはならない。
- 参加者は自身の行動は勿論、自チームのドライバー・応援団など全員の行動についても責任をとらなければならない。

―パドックの使用―

- パドックは原則としてゼッケン番号の若い順とする。
※割り当てられたパドックを参加者相互で交換・変更するときは参加者が互いに了承し合い、スタッフに申し出、許可を必要とする。

走行中の遵守事項

―停止―

- コース内で車両が停止した場合、ドライバーは直ちに車両をコース脇に寄せ、他のドライバーの邪魔にならないようにしなければならない。
- コース上で車両を進行方向と逆に押ししたり引いたりして車両を移動してはならない。但し、スタッフの指示がある場合はこの限りではない。
- 事故または、車両故障などの理由によってリタイヤする場合、その地点から最も近いコーススタッフに報告しなければならない。

―マーシャルカー介入時の注意―

- 事故や故障車両が出た場合等、競技長の決定によりレースを非競技化するためにマーシャルカーが使用される場合がある。
- レース中にマーシャルカーの配備の命令が下された場合、全てのコースポストは『イエローフラッグ』が示され マーシャルカーの活動が終了するまで保持される。
- レース中にマーシャルカーはイエローフラッグをかざしながら先頭車両（順位）に関係なく直ちにコース上に合流する。
- 全ての競技車両はレース中 マーシャルカー後方に1列に整列する。マーシャルカーからの指示がない限り追越は禁止される。

- マーシャルカーはコース上の故障車両等が回収され、コースクリアになるまで活動を続ける。
- マーシャルカーが活動中にピットインし、ドライバー交代することができる。
- 競技長がマーシャルカーを呼び戻すときは、マーシャルカーはその周回が終了した時点でピットインする。
- マーシャルカーがピットインした際、最前車両がスタートゲートに近づいた時点で『グリーンフラッグ』がスタートゲートで振られる。但し、スタートゲートを越えるまでは追い越し禁止。（後方車両の方は充分気をつけてください）
- マーシャルカーが活動中の周回も【レース周回】としてカウントされる。（連続乗車時間にも数えられるので注意してください）

―コース外走行―

- 事故または、故障等でコース途中よりピットまで押し戻る場合 オフィシャルの指示に従わなければならない。
- ピットロードを走行する際は必ず徐行しなければならない。
- コースをショートカットした場合、T・T 中なら セカンドタイムを有効とする。（2 回目以降は全タイム無効）レース中なら競技長の決定により 原則としてペナルティが課せられる。

ペナルティ

NCML が開催するレースの意義を充分にご理解ください。

ブッシング・ブロッキング及び無意味な衝突など非スポーツマン行為は参加しているドライバーのみならず観戦している方々にも大変不快な行為・光景に写ります。これらの行為に対して主催者は厳しくペナルティを課します。（以降のエントリー拒否等）

※ラップペナルティは失格にならない程度の違反に適應され、下記のペナルティが与えられる。（詳しくは最終頁参照）

違反	ピットストップ
ブロッキング・ブッシング・進路妨害	30 秒ピット停止
ピットロード徐行違反	30 秒ピット停止
ドライバー交代時のピット違反	30 秒ピット停止
フライング（競技長判断によるものです。）	30 秒ピット停止
フラッグ無視	30 秒ピット停止
迷走	30 秒ピット停止
イエローフラッグ無視	30 秒ピット停止
ドライバーサインを怠ったもの ・ コース上で停止した場合、両手を大きく上げる。 ・ ピットイン・ピットアウト時、片手を大きく上げる。	30 秒ピット停止

※レース中の違反行為についてドライバーを停止することなく
ペナルティを課す場合がある。

- ドライバーの技量による危険行為に関して【黒/白の旗】によって指示され、安全速度域での走行が義務づけられる。
- フロントカウル・サイドカウル・リアバンパーが衝突時に外れた場合、ドライバーはピットに戻り修復して再スタートすること。(安全義務違反となります。万が一に備えてお願いします。)

ーピットイン及びピットアウトー

- ピットイン・ピットアウトする場合、ピットロードはすべて徐行区域となっております。(徐行違反…ピットロード上のパイロンタッチにもペナルティが課せられます。)
- ピットインの際、自ピットを通り越して停止した車両はエンジンを停止した後、ピットスタッフの了承を得て該当車両のドライバー及びピットクルーにより後ろ向きに押し戻し、自ピットにつけることができる。
- ピットアウトする車両は、減速区域に於いてはピットインする車両に優先権があることを承知すること。また、ピットアウトに際してはピット審判員の合図に従うこと。
- コース上で停止した場合、後続車に見えるように両手を高く上げて知らせる。スローダウンした場合も片手を高く上げて知らせる。

競技に関する事項

ー耐久レースに関する事項ー

- 競技車両はエントリーを受理した順に当日 抽選で決定する。
- 4H 耐久レースは 前半 2 時間終了後昼休みとし、再抽選でマシンを割り当て 逆走にて後半戦をローリングスタートで再開する。
- チーム構成は 1 台の車両に対しドライバーは 2 名～5 名までとする。
- エントリー時にはチーム名を必ず登録のこと。
- 参加申込みが正式に受理された後のドライバー変更は疾病等やむを得ない事情がある場合のみとし、受付の承認を得なければならない。(ドライバーの変更が許される期限は当日受付時まで)
- WEEKDAY2H 耐久以外のレースは体重ハンデがつくため、車両抽選後 チーム全員の体重測定を行う。(カートに乗る状態で)
- 公式練習は主催者が設定した時間内に練習走行ができる。(当日の天候等 状況により時間を決定する)
- 公式予選(T・T)は指定された周回で 各チームタイム計測にて一番速いタイムが採用され、決勝グリッドが決定される。(状況によ

り時間内でチーム単位のタイム計測にて決定する場合もある。)

- 競技中、ドライバーに対する指示はすべて旗が使用されます。(最終頁参照)

ー決勝ー

- スタートはタイムトライアルが周回計測の場合、タイムトライアルを走ったドライバーがドライブするものとする。
- スタート方法は各レース競技長の判断によりブリーフィングで伝えられます。
- スタンディングスタートの場合、スタート時にエンジンストップ、もしくはエンジンがかからない時は片手を大きく上げて合図をし、全車がスタートした時点でピットまで押し戻してピットスタートすることができる。
- レース中クラッシュ等のトラブルで車両を修理しなければならない場合、指定場所にすべてスタッフが行くこととする。
※尚、車両整備をする場合、全てに於いてレース役員の承認を得なければならない。(部品・工具・ゲージを持ち込んでの整備・セッティングの変更、及びガソリン添加剤の使用等は全て禁止とする。このような行為が行われた場合、以降のレースエントリーを拒否します。)
- レースに於ける乗車時間→連続運転時間チャレンジクラスは最高 20 分エンジョイクラス 25 分までとする。ひとりのドライバーが規定時間以上走行すると ペナルティが課せられる。
なおエンジョイクラスは 5 回以上ドライバー交代すること。
- ドライバーチェンジの際、自ピットに停止し エンジンストップして停止すること。規定時間以内でピットアウトするとペナルティが課せられる。(停止時間は各自で計測すること。)2H 耐久レース
★チャレンジクラスは体重ハンデにより、各チームのピット停止時間が決められる。
- NCML 耐久レース・チャレンジクラス ピット規定

平均体重(Kg)		ピットストップ
80	～	30 秒
75	～ 80	35 秒
70	～ 75	40 秒
65	～ 70	45 秒
60	～ 65	50 秒
55	～ 60	55 秒
～	～ 55	60 秒

エンジョイクラスは各チーム 45 秒とする。(変更がある場合ブリーフィ

ングで連絡する)

その他レースに関しては基本 30 秒。変更がある場合にはブリーフィングにて連絡する。

ーピットサインー

- 走行中のドライバーに対しサインを送ることができる。
- 無線機の使用は許可する。ただし、携帯電話もしくは微弱電波使用のこととする。

主催者の権限

- 参加申込受付にさいして、その理由を示すことなく参加者・ドライバー・ピットクルーを選択、あるいは参加を拒否できる。
- 競技番号の指定、あるいはピットの割り当てにあたり各参加者の優先順位を決定することができる。
- やむを得ない理由があったドライバーの氏名登録または変更を許可することができる。
- 全ての参加者・ドライバー・ピットクルーの肖像権及び、その車両の写真・音声・映像など、報道・放送・放映・出版に関する権限を有し、この権限を第三者が使用することを許可できる。
- 大会スポンサーの広告を参加車両に貼付させることができる。

損害の補償・大会スタッフの選任

ー損害の補償ー

- 損害の責任
競技中または、その前後で起きたドライバー・ピットクルー・ヘルパーの損傷は自らが負うものとする。
- 車両の責任
競技中または、その前後を含めた車両保管は各チームで行うものとする。主催者は責任を負わないものとする。

ー大会スタッフの責任ー

参加者・ドライバー・ピットクルーは大会スタッフが一切の損害賠償の責任を免ぜられていることを承知する。即ち、大会スタッフはその職務に最善をつくすことは勿論であるが、もしその行為により起きた参加者・ドライバー・ピットクルー及び車両の損害などに対して、大会スタッフは一切責任の無いことをいう。

本特別規則書の適応と補足

ー本特別規則の解釈ー

本特別規則及び本競技会に関する公式通知や諸規則の解釈についての疑義がある場合、参加者は文書によって質疑を申し立てる。質疑に関する回答は大会審査員の解釈、または決定を最終的なものとして関係者に口頭で通告される。

ー公式通知の発行ー

本規則に掲載されていない競技運営上の細則や参加者に対する指示や本規則発表後に生じた必要事項は公式通知によって示される。

☆公式通知とは☆

- ◆ドライバーズミーティング時に通知される。
- ◆緊急の場合は場内放送にて通知される。
以上の方法によって参加者に通知される。

◎ ペナルティ対象の禁止事項 ◎

- ▲ **黄旗無視** (黄旗区間中・マーシャルカー走行中の追い越し・徐行違反)
- ▲ **ピットロード徐行違反** (パイロンタッチ)
- ▲ **コースイン時の一時停止違反** (コースインする際は、必ず一時停止をしてください。尚、この際スタートゲートより1コーナー側に走行車両がある場合、コースインしてはいけない。)
- ▲ **コース内でのUターン・スピントーン等** (正面衝突防止のためコース内でのUターン・アクセルターン等は危険行為となります。スピン等で進行方向を大きくそれた場合は一度エンジンを止め、カートから降りて進行方向へ戻してから再度スタートして下さい。)
- ▲ **コース内のゼブラ・芝のショートカット**
- ▲ **故意のプッシング・ブロッキング・幅寄せ**
- ▲ **コースイン・コースアウト時のサイン** (片手を大きく上げる)
- ▲ **コース上で停止・スピン時の合図** (両手を大きく上げる)
- ▲ **服装違反** (グローブ忘れ・ヘルメットのおごひもしめ忘れ・スーツの前ファスナーしめ忘れ等)
- ▲ **ブルーフラッグ無視**

☆ **上記の禁止事項に違反しますと、ペナルティとして30秒のピットストップが課せられます。**

☆ **その他、競技長が危険と認めた行為に対してその都度競技長の判断によりペナルティを課すことができます。**

当施設では、皆様楽しく安全に耐久レースをしていただくために上記の禁止事項を設けています。安全のため上記禁止事項厳守で1日お楽しみください。

モータースポーツをもっと手軽にもっと楽しく

新千歳モーターランド

北海道千歳市美々1292-560

TEL 0123-23-5115 FAX 0123-23-5116

URL <http://www.phoenix-c.or.jp/ncm1>

◎ レース中に使用される旗 ◎

黄色

静止…前方にてトラブルあり。現場を通過するまで追い越し禁止。

振動…前方にてトラブル有り。スピードを充分落として走行すること。追い越し禁止。

青

静止…後方より早い車両が接近中。注意!

振動…後続に速い車両が接近中。後続車に進路を譲る。

黒/白

黒旗提示の最終警告

黒

禁止事項違反(全頁参照)に対するペナルティ。(自ピットに戻り30秒ピットストップ)

赤

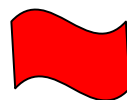
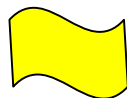
事故などの発生でレース中断。全車徐行し、競技長の指示に従う。

緑

前に合図した危険の解除。(事故車・故障車の回収後の再スタート等)

オレンジボール

車両トラブルに対するピットイン命令。(修理後は再出走可)



国旗
スタートの信号。



チェッカー
終了の信号。

練習走行・タイムトライアル・レース時に使用される。